

# バステイン研究会 in 東京 月例講座 報告

(2012年9月分、毎月第2木曜日 10:00~12:00 開講)

♪ピアノベーシックスレベル1の講座報告と、参加者アンケートから出たQ&Aです。

2012年9月13日 「ベーシックスレベル1」 講師：小西裕美子

「音符を読む」から「楽譜を読む」へ

グループ1の調を5指ポジションで弾き、音楽記号を学びます (受講者44名)

## レベル1

- ❖ P. 4~5のおさらいのページは初めて習う生徒さんにはもちろん、すでに習っている生徒さんにも1項目ずつ確認をしていくと、もしその場で落ちている項目があることに気が付き習得しながら先に進めることができるとわかりました。
- ❖ P. 6~9は復習になりますが、新しい生徒さんにはここでしっかりと教えると良いそうです。
- ❖ フラッシュカード、1分間に24枚をレベル1終了までに読めることができます目標。
- ❖ P. 6「行進しよう」での練習方法:何ポジションですか？ どんな速さ？ フレーズはいくつある？と質問してから上がってる下がってるを理解するために音符を線で結び、理解させてから弾くといいそうです。
- ❖ P. 8・9 臨時記号ではもともと黒鍵に指を置くか、指を広げることを意識すること。また、フラットが付くときを付かないときの音色の違いも聞くことが大切とのことです。ただ音を弾くだけでなく、形として捉えることが大事ということがわかりました。
- ❖ P. 10 手が届く生徒にはV7のBの音を入れても良いそうです。I→V7→V7→Iを音楽的にします。
- ❖ P. 12 スタッカートの奏法はたたかないと伝えることが大切ですとのこと。
- ❖ P. 14 速度記号のところではピアノのお稽古のテキストにはカタカナで読み方がないので、挿絵でおわかりやすいセオリー(P. 9)を参考にすると良いです。またわからない意味を楽語辞典で調べる体験にもなるとのことです。
- ❖ P. 16 あたらしい調調号の意識をさせます。テキストに書かれていることが大事。フラッシュカードを



使ってポジションを覚えます。小西先生はフラッシュカードを何セットも購入して、レッスン時、ポジション別にサッと取り出せるようにセットしてあるそうです。

- ✧ P. 19 ソナチネ、ソナタにつながる形式を学びます。同じ段、違う段、似てる段を探し、シールを貼るとよくわかるとのこと、音の動き、反進行など、自分で曲を分析する第一歩ということ教わりました。
- ✧ P. 22 シャープの調号では # の最後の音を言えばそのすぐ上の音が調の名前ということを理解させます。

- ✧ P. 30「リズムにのって」のようにノリのいい曲には伴奏君を使用するの楽しそうで良いと思いました。  
(現在はフロッピータイプではなくUSB対応の機械に移行しているそうです)
- ✧ P. 32 強弱の変化では子供用の玩具(ソフィア)というものでご紹介いただきました。生徒自身が曲に合わせてクレッセンドしていくたりデミュニエンドしていく体験ができ、それが目で見ることができるので良いと思いました。
- ✧ P. 34 ペダルの学習ではまず、ペダルをたくさん踏んでペダルに慣れることができが大事だと伺いました。
- ✧ P. 35 全音の響きを味わい、指導者が弾いて真似させるのも良いとのことです。
- ✧ P. 36 アウフタクトの感じを腕や体を使い体験してから鍵盤に入るとわかりやすいとの事でした。
- ✧ P. 38「和音でとんで」では和音を弾いたら次に行く準備が大事です。
- ✧ P. 39 どこでフレーズが始まってどこでポジションを移動するかを理解してから弾くことが大切ということがわかりました。



- ✧ P. 44「アロエッテ」ではどこでオクターブ上に跳ぶ準備をするかを理解してから弾く良いそうです。そして歌詞で「アロッテ かわいいこ」というのを「アロエッテ かわいいねこ(猫)」として歌ってあげるとメロディのつながりがよりわかりやすくなるということを教わりました。
- ✧ P. 54 ではレベル2にて学ぶ全音が登場します。次のレベルにつなげるために生徒さんにも紹介してあげるとステップアップの声かけになると思いました。

### 【テクニック】

- ✧ P. 6 バランスとてでは指導者が生徒さんの両肩に手を添えて左手伴奏のときはそっと、右手メロディのときはすこし力を加えてあげると体感できてわかりやすいという方法を教わりました。
- ✧ P. 9「とんすべて」ではマイナーの響きも体験できる曲になっているのだなと思いました。
- ✧ P. 13「ハンギングライダー」では手首をやわらかく【down up】の動きをわかりやすく教えていただきました

た。

- ✧ P. 20「太平洋の波」ではいろいろ波のイメージを話し合って小さい波、大きい波を想像しながら弾くとよりわかりやすく表現ができることがわかりました。
- ✧ P. 30 重音はそれぞれのレベルの最終ページに載っていることで難しいテクニックだけどゆっくり丁寧に指導することが大切だと思いました。
- ✧ P. 31「そりすべろう」は手のポジションだけで弾けることなので、次のレベル2で学習する内容の先取りとしてDとEポジションの紹介をする感じで手の交差を体験できることとペダルの響きもきれいなページだと思いました。

レポート T.M



## Q & A ・・・ アンケートのご質問にお答えします！

Q. セオリーで「ピアノで弾きましょう」というところが多く出てきますが、宿題として出すのですか？それともその場で初見で弾かせた方が良いですか？

A. 私は初見で弾かせてしまっています。出ている曲全部は弾く時間が取れないので、おうちで弾いてごらん という時も・・。

Q. 全体としてセオリーの使用法がよくわかりません。生徒によってはとても時間がかかる「ピアノ」との進度がずれてしまいます。

A. 私もそうです。理想はピアノと同時進行ですが・・。私は「ピアノ」の本が終わったら復習としてパフォーマンスをさいごに使っているのでその時にセオリーをしています。あまりこうしなくては 思いつめなくともよいと思います。

④. パフォーマンスを最後にまとめて使うのですか？

A. パフォーマンスの使い方ですが、パフォーマンスは「ピアノ」の項目をさらに数こなしする内容です。前の質問でもお答えさせていただきましたが、セオリーと同じで、理想は同時 もしくはちょっと遅れてがよいと思います。

Q. パフォーマンスだけ後で使うとのことですが購入するのも後ですか？

A. はい そうしています。

④. パーティーシリーズから、ベーシックシリーズへバスティンで育てている生徒がいますが、全調メソットの素晴らしいを実感しつつもバスティンだけで育てているとアメリカ的（ブルース調？）な音色の多さに少々食傷気味です。ベテランの先生方はこのようなことをお感じになりますか？抜粋は絶対やらないですか？私はよく深く練習する曲、軽く流す曲など緩急つけていますが、

モチベーションを維持するのに最近行き詰っています。家庭は熱心でよく練習させていますクラシック的な曲が少ないと感じますが、4冊で手いっぱい時間が足りないと感じています。

A. バスティン先生はいろいろな本を持たせています。それこそ すぐ弾ける曲、ちょっと難しい曲、そしてチャレンジの曲として。

小さい生徒さんにはバスティン先生が編曲なさっているクラシックメロディーの楽しみとかギロック、やカバレフスキーやいろいろです。私も読譜が楽にできるようになった生徒さんにはベーシックスと併用しているいろいろな本を使っています。多少レベルの進みは遅くなりますが いろいろな本を取り入れながらレベル4まで進んで 楽典も充実させてあげたいと思っています。

④. 小学生（3～4年生）くらいの生徒さんが初めてピアノを習い始める場合もレベル1から始めるべきですか？

A. 私はそれでよいと思います。やはり大事なことがいっぱい詰まっている本です。ほかのレベルから始まっても レベル1の内容が入っていないと進めないと思います。

④. 今違う教材を使っているので どうバスティンにつなげていこうか悩んでいます。

A.バスティンを知るとまず皆さまが悩むところです！併用でもよいと思います。まず 使ってみてください。（としか私には言えません・・。私もそうでした。）

⑩.足台はどういったものがお勧めでしょう？

A.私は生徒の背の高さによって3種類 使っています。ペダルがなくて 高さが3段階に調節できるもの ペダルが付いていてちょっとずつ高さが変えられるもの そしてアシストペダルです。

⑪.フォルテの音を男の子が特に乱暴に弾く傾向があります。

A.そうですね。大きく イコール乱暴になってしまうと思うのですが、まだ脱力ができていないと どうしても乱暴な音になってしまいます。先生がきれいなフォルテの音を聴かせてあげて耳づくりも大事なのではと思います。

その他 感想など

- ✧ 実際のレッスンで 教本以外にどんなドリルをすると生徒にとってよりスムーズに進められるかを知れて良かったです。
- ✧ 実践的な内容で良かったです
- ✧ 教え方のアイデア 教師が面倒くさらずに教具の工夫をすることなど大変参考になりました。
- ✧ 一つ一つの項目でポイントがよくわかった。
- ✧ 積み木 作ってみます フラッシュカードなどポジション別に用意すること私もやってみます。単語カード作ります
- ✧ 1曲1曲ポイントを確認しながらレッスンしていくことの大切さがよくわかりました。
- ✧ 生徒がとつつきやすくなるヒントたくさんいただきました

3か月小西の講座ご参加くださりありがとうございました。

10月からは高橋先生のテキパキ楽しい講座です。

お楽しみに！

小西裕美子